

広報

のだ

平成16年(2004)年

8

月号

No.376



主な内容

- ・合併協議会を設立.....2
- ・沸騰!!20回目の砂まつり...4
- ・生涯学習コーナー.....8
- ・むらのわだい.....10
- ・おしらせ.....14

ホームページ

<http://www.vill.noda.iwate.jp>

Eメール

soumu@vill.noda.iwate.jp

けっこう暑いね。そうね

快晴に恵まれた第20回砂まつりが、多くの家族連れなどでにぎわいました。強い日差しに汗をぬぐう大人を尻目に、子どもたちは涼しい顔で水遊び。暑い夏は楽しまないと損?!

(関連記事は4ページ)



夢・希望・未来に向かって
ひと輝くまちづくり

野田村
山形村
久慈市

法定協を設置



重みを分かち合う(左から) 山内久慈市長、中川野田村長、清水山形村長

久慈市、山形村、野田村のそれぞれの議会でも合併協議会設置に関する議案が可決されたことにより、七月二十七日(火)に久慈市・山形村・野田村合併協議会(会長・山内隆文久慈市長)が設置されました。今後三市村は、新市の将来像を具体化するための協議を進めることになります。

新市まちづくりの具体化を 調印式・第1回目の法定協

七月二十七日(火)、久慈市役所で調印式が行われ、山内隆文久慈市長、清水恭一山形村長、中川正勝野田村長が協定書に署名しました。

同日に第一回目の会合が開かれ、委員二十五人中二十四人が出席しました。

合併を協議する上での基本方針として、①特例法期限内の合併実



協定書に署名する中川村長

現②地域全体の視点に立つ「新たなまちづくり」の議論③新市建設計画の策定、合併協定項目、事業の調整についてはできるだけ具体的に表現する—などについて決定されました。

県内の法定合併協議会の設置は、八地域目で、久慈地域では種市町・大野村について二地域目となります。

三市村が合併すれば、人口は四万五千三百七十三人、総面積は七〇四平方キ(資料「新市まちづくり構想」)となります。

合併支援地域の指定を要請 三市村の首長らが県知事に

第一回目の協議を終えた翌日となる二十八日（水）、三市村で法定協議会を構成する山内久慈市長、清水山形村長、中川野田村長が、県庁を訪れ増田寛也県知事に對して、合併重点支援地域の指定を要請しました。

今回の要請は、既に重点指定地域に指定されていた久慈市と山形



明るい将来構想を思い描く合併協議会

任意協議会を解散 所期の目的を達成

村に、野田村が加わったために行われたもので、増田知事は「来年三月末までの合併特例法期限までに合併が成立するよう早急に手続きを取りたい。実りある議論を重ねてもらいたい」と話しました。

県では翌日二十九日付けで、野田村を含む三市村を重点指定地域に指定しました。

この指定を受けた地域では、将来構想の策定などで地域活性化事業調整費を優先して採択が受けられることとなります。

久慈市・山形村・野田村任意合併協議会が、七月二十六日付けで解散しました。

久慈市と山形村が、一月三十一日に設置し、野田村が六月二十八日に加わり、計十一回の協議をしました。

同協議会は、合併協定項目や新市まちづくり構想について協議するなど、所期の目的を達成したため、法定協議会を設置する前日をもって解散したものです。

久慈市・山形村・野田村合併協議会の今後の予定

10月	2・3月	平成17年1月	12月	9月	8～1月
新市の発足	県議会での審議	・合併協定書の調印 ・県知事へ合併申請書の提出	・合併協定項目、事務事業の調整を終了	・新市建設計画の原案を調製	・合併協議会の開催 ・事務事業の調整のための専門部会、分科会の開催 ・協議会だよりの発行（毎月発行）

合併方式は新設 両村に総合支所 第2回目の法定協議会

設置後、第二回目となる久慈市・山形村・野田村合併協議会が、十二日（木）、山形村老人福祉センターで開かれ、合併協定項目の具体的な検討が行われました。

二十四の合併協定項目のうち八項目について、事務局案を基に協議を行い、次のようなことが確認

されました。

- ・合併の方式は対等な立場での新設合併とする
- ・合併期日については、来年十月初旬を基本に調整する
- ・新市の名称については、継続して協議する
- ・新市の事務所を久慈市に置き、野田村と山形村には総合支所を置く総合支所方式とする
- ・三市村が所有する財産（公有財産、物品、基金など）はすべて新市に引き継ぐものとする
- ・議会の議員・農業委員会の委員の定数・任期については、三市村の議会と農業委員会の意向を確認するため、九月中旬までに統一した見解を示してもらうよう各議会議長などに要請する
- ・診療所・診療施設の取り扱いについて、現行の医師確保対策に留意しながら存続する

傍聴してみませんか 次の会場は野田村

合併協議会はどなたでも傍聴することができます。

【日時】8月23日（月）13:30～

【場所】野田村総合センター

【問い合わせ先】久慈市・山形村・野田村合併協議会事務局 ☎52-2111、役場総務課 ☎78-2111

夏の暑さに焦がれ焦がされ

沸騰!! 20回目のだ砂まつり

誰もが待ち望んでいた抜けるような青空の下で「第二十回のだ砂まつり」が七月三十一日（土）、八月一日（日）の二日間、十府ヶ浦海岸で開催されました。会場は夏のイベントを満喫しようと、多くの家族連れでにぎわいました。今回は節目となる第二十回目の開催であることから、七月二十五日（日）にはカウントダウンイベントも行われ、岩手発のアイドルグループ「ラブユアーズ」もかけつけ、砂浜で手をつなぎギネスに挑戦するなど、夏の熱い祭典を盛り上げました。



大勢の人でにぎわいました



Tシャツは圧巻



水の感触が気持ちいいね



うめえがなあ、もう一杯



涼しげに展示された手作りTシャツ



砂浜に映える 砂の造形たち

のだ砂まつりの象徴ともいえる、さまざまな砂の造形物が砂浜の会場に、所せましと立ち並び来場者を歓迎しました。造形コンクールには大作品七点、小作品三点の応募があり、審査の結果次の作品が受賞しました。

最優秀賞



ファインディングニモ (ことぶき荘)

優秀賞

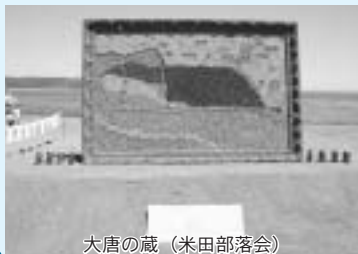


ムシキング (野田村役場)



おみこし (泉沢こどもみこし会)

チヨッパの夏休み
(久慈工業高校)



大唐の蔵 (米田部落会)

優良賞



オリンピック歓喜 (高橋キサ子)



20周年おめでとう (野田キッズセンター)

久慈地方
振興員優秀賞



十府ヶ浦鉄道普代・久慈行き (野田村商工会青年部)



野菜の盛り合わせ (JA いわてくじ青年部野田支部)



会場となった十府ヶ浦は



ギネスへの挑戦は大成功!



ずらりと並んだ



いや〜ん!海水をまがしちゃった



声援が飛び交う綱引き大会。いきばれ〜負けんなー

訪れた人たちは、会場に並ぶ個性あふれる砂の造形や、砂浜を埋め尽くす手づくりのTシャツが風に揺れる涼しげな様子を記念に残そうと、盛んにカメラのシャッターをきっていました。

ステージ前には特設プールが設けられ、水遊びを楽しむ子どもたちの元気な声が響き渡っていました。

誰でも参加できるイベントが豊富なことも、砂まつりの大きな魅力のひとつです。



ビーチでの熱い戦い、サーブよ決まれ!

十七年ぶりに復活した「潮汲みレース」や、砂浜をコートにした「ビーチソフトバレー大会」、力自慢の屈強な男たちが繰り広げた「ビーチ綱引き」などを応援する会場からの大きな声援は大興奮の渦となり、今年の猛暑を越えるほど熱い盛り上がりを見せました。

びつ子水着コンテスト」や、村のPR役を選考する「ベッピンさんコンテスト」には例年を上回る応募があり、審査員は大いに悩みながらもうれしい悲鳴をあげていました。



ハッケヨイのこった!負けても気持ちいい?



この水着せくしーでしょ



舞うように飛んだ「ハッポウ飛び」

カウントダウンイベントの結果

○十府ヶ浦クリーン作戦(参加者三百五十人・収集したごみの量二百九十六袋)

○ハマナス植樹(参加者五十人・植樹百本)

○ギネスに挑戦手をつないで十府ヶ浦完全制覇(参加者二百五十人・距離三百メートル)

主なイベントの結果

○十府ヶ浦ベッピンさんコンテスト

【ベッピン十府ヶ浦】宇部啓子さん(愛宕町、二)

【ベッピンマリノローズ】佐藤朱さん(米田、一九)

【ベッピンアジアンハウス】畑田まなみさん(久慈市、二五)

○Tシャツコンテスト

【最優秀賞】田中キヌ子さん(前田小路)

【優秀賞】広崎歩さん(北区)、泉沢ひとみさん(上泉沢)

○ちびっ子水着コンテスト

【アイドル賞】道上まどかちゃん(下明内)、小野涼ちゃん(玉川)、外館奈々ちゃん(下明内)、渋谷舞奈ちゃん、大道莉瑚ちゃん

○水上相撲

【小学校優勝】藤根洸弥くん(上泉沢)

【中学校優勝】藤根経太くん(上泉沢)

○ビーチ綱引き

【男子優勝】すけこまし(野田村)

【女子・小学生優勝】米田子供会B(野田村)

○ビーチソフトバレー

【各ブロックの優勝】砂ウオッチ、キラ2、のんちゃん(いずれも野田村)、Mジャングル(久慈市)

○ハッポウとびタイムトライアル

【優勝】中野了太くん(下新山)

【準優勝】伊川直樹くん

○潮汲みレース

【優勝】浅沼幸恵・田上寿子組(一分十五秒)

【準優勝】岡野泰樹・萬徳大貴組(一分十五秒)

○コカコーラタイムトライアル

【優勝】上川立紀くん(玉川)



審査員の過激な質問を見事にクリアし受賞した(左から)畑田さん、宇部さん、佐藤さん

海にキャンプに大忙しの夏休み



目指せ!大物っ!!

炎天下での海づくり

集まれ!野田っ子の二十二人が七月三十一日(土)に十府ヶ浦海岸で行われた「久慈地区少年海づくり大会」に参加しました。

今年度から野田っ子は「海づくり少年団」としても活動しています。これは、さまざまな体験を通して海に対する理解を深めるもので、第一回目となった今回は、久慈管内の海づくり少年団七団体一五六人とヒラメの放流や地引き網、野田塩づくりを体験しました。

焼けるように熱い砂の上で地引き網に挑戦した野田っ子たちは、暑さを忘れるほど一生懸命に綱を

引き、網に入った魚に歓声をあげていました。
昼食では、他の団体の児童たちと仲良くホタテや焼き魚を食べ、交流を深めました。

2泊3日を元気に過ごす

三日(火)から五日(木)に、玉川野営場と日形井で、十八人が参加してキャンプが行われました。太陽が照りつける中、テント設営や薪を使つての火起こしに汗を



激しい争奪戦が繰り広げられた流しそうめん



自主的に手伝いをする野田っ子たち

流しながら、班毎に協力して一つの作業を丁寧にこなしていました。

二日目の夜には、図書館ボランティアグループ『あつぷつぷ』の小田みゆきさん(本町)による、野田の昔話や、六日の平和記念日にちなんだ原爆に関する絵本の読み聞かせを聞きました。野田っ子の中には「とても怖かった」という児童もいて、戦争の悲惨さを感じていました。

ほかにもそばの種まきや創作活動に取り組み、三日間のキャンプ生活を終える頃には、一段とたくましく成長していました。

大人も子どもも水に親しむ



『いくわよ〜!』と楽しい笑い声が響きます

七月二十七日(火)から二十九日(木)の三日間、悠YOUSポーツクラブの『水泳教室&水中(アクア)運動教室』が村民プールで開かれました。
午前中は、小学生延べ一〇七人がインストラクターの指導を受け、最初は泳げなかった人も最終日には友だちと元気いっぱい泳ぎを楽しんでいました。

一般を対象にした水中(アクア)運動では、音楽に合わせて身体を動かし、楽しく水に触れることができました。参加者は「思ったより疲れなかった。涼しくて最高」と外の暑さを忘れて清々しい笑顔を浮かべていました。



僕はクワガタムシをつくるんだ♪

七月十一日(日)、総合センターでいきいきライフ『陶芸教室』が行われ、十五人がのだ焼きに挑戦しました。

参加者は、講師の泉田之也さん(日形井)から説明を受けながら、お皿や灰皿、花瓶など、思い思いの作品を作りました。初めて作る

暑い日もいきいき 元気に活動中!!

陶芸教室・琥珀の採掘



『2つの太陽』の前。新館を満喫

人もいて、「思ったより繊細な作業で難しかった。もう一度やってみよう」とすでに次回作の構想を練っていました。

七月二十五日(日)には『琥珀探しにでかけよう』と題して、久慈琥珀博物館を訪れました。

今年六月に開館した新館では、気軽に琥珀に触れて実験をしたり、卵型をした大きなミニチュメントの中に入ったりしました。

体験活動は、琥珀採掘体験と縄文の玉づくり体験に分かれて行いました。それぞれ柔らかい琥珀の扱いに苦労しながらも、直径約五センチの琥珀を掘り出した人や、勾玉の形をしたペンダントを作った人など、それぞれ楽しみながら琥珀の温かみや神秘的な美しさに触れていました。

親子仲よくうちわづくり

7月30日(金)に『親子パソコンタイム』が総合センターで行われ、小学生の親子5組18人がパソコンを使ったうちわづくりに挑戦しました。

子どもたちはパソコンの操作にも慣れていて、親たちに教えることもありました。うちわのデザインを決めるときには親子で肩を寄せ合って相談する姿が多く見られ、パソコンを通じて親子の仲も深まったようです。

「お母さんと一緒にやれて楽しかった」「こういう教室をどんどんやってほしい」と子どもも親も大変満足し、早速、完成したうちわを使って涼んでいました。



イラストはどれにしようかな

笑顔はつらつグラウンドゴルフ



第1打はナイスショット

7月8日(木)、9日(金)の2日間、悠YOUスポーツクラブ『グラウンドゴルフ教室』が山村広場で開かれました。

この競技は村民体育大会の種目の1つであり、参加者は村体育指導委員の渡邊敏和さん(根井)の指導を熱心に聞いていました。

グラウンドゴルフは自分のペースで気軽に行えるため、参加者は和気あいあいと楽しくプレーでき「教室の回数をもっと増やしてほしい」「常設コースを設置してほしい」など、参加者からはとても意欲的な意見が出され、有意義な教室となりました。

親子で体験物づくり

久慈工が学校を地域に開放

県立久慈工業高校（久慈和男校長、生徒三百三十八人）で、七月二十九日（木）、親子物づくり体験教室が開かれました。

同校の生徒らは先生役となり、参加した小学生や保護者に、授業で学んだ知識を生かし、優しく手ほどきしました。

電子サイレンを作る電子機械コースと、木工クラフトなどを作る建築コースに合わせて三十五組の親子が参加し、本格的な工作に真剣に取り組んでいました。

電子サイレンの工作に挑んだ野崎裕太くん（野田小四年）は「ハ



お！上手じゃないか

ンド付けが難しい。やけどに気を付けて、五秒以内でつけるのがコツ」と、職人並みの集中力で作品に魂を注ぎ込んでいました。

木工クラフトに取り組んだ米田亜紀さん（同校三年）は、「とても楽しい。電気のコギリでの切斷に手こずったけど、上手に仕上げたい」と目を輝かせていました。

中には子ども以上に没頭するお父さんや、孫と一緒に参加したおじいちゃんの姿も見られました。

教室の一角では、汗だくで一心不乱にヤスリをかけまくる受講生が「夏休みの工作にするから、友達に負けたくない」と一言。妥協を許さない物づくりの精神に関心しました。

どうぞお使い下さい！

郵政互助会が車いす寄贈



善意を大切にします

郵政互助会東北地方本部（山崎泰正本部長）が、七月二十二日（木）に特別養護老人ホームことぶき荘（上野丈夫園長）にアルミ製の車いす一台を贈りました。

寄贈を受けた施設の利用者らは、大きな拍手で感謝を表し、車いすの乗り心地を確かめていました。施設を利用する新山テルエさんは、「大事に使います。とてもうれしいです」と、ありがたい善意に対し笑顔で答えました。

同本部が行う車いすの贈呈は、一九九六年から始め毎年実施している事業で、昨年度までに三百二十の施設に、計三百九十七台を贈っています。

お見事！県ベスト8

ファイターズ・第五分団

七日（土）から九日（月）まで雫石町で開かれた、県学童軟式野球選手権大会けんじワールド杯に村代表として出場した野田ファイターズが、県ベスト8に輝きました。第1試合目は黒沢尻北スポ少に10・1、第2試合目は一関ベアーズに9・6で勝ちましたが、第3試合目は龍泉洞Jスターズに2・6で惜しくも敗れました。



県消防操法競技会に村代表として出場した、第五分団（分団長）が小型ポンプの部で見事、8位に入賞しました。

七月三十日（金）に開かれたこの大会には、各地区から選ばれた計十七団体が出場し、ポンプ操作の技術を競い合いました。

高いチームワークを武器に、高得点を獲得した結果は次のとおり。

◇総得点 81・50点

◇操作時間 44・75秒

大切な森と川に親しもう 安家で清掃活動や稚魚放流

下安家に注ぐ安家川の上流にあたる岩泉町安家で、安家川流域環境保全推進協議会（島川良彦会長）が、環境の保全のための活動を行いました。

この事業に参加したのは、野田小、大平小と大平中その保護者ら九十人で、安家小学校旧川口分校前から約二百以上流までの道路わきに捨てられた空き缶や紙くずを拾い集めました。

清掃活動を終えた一行は、八ヶ



たくさんエサを食べて大きくなってね～



この雨で水分は十分だね

に育ったサクラマスの子魚約一万五千尾を、バケツから川にそっと放し、「元気で帰ってきてね」と声をかけ、無事戻ってくることを願いながら泳ぐ姿を見送りました。きれいな川には豊かな森林が不可欠であることから、半城子地区の一部にブナ八十本、コナラ二十本の苗木を植樹し、あつあつの焼き肉や、おにぎりに舌鼓を打ちながら、身近で大切な自然の話に花を咲かせていました。

当日は、あいにくの天候に見舞われましたが、深い森林に優しく降り落ちる雨の雫は川へ流れ、やがて海へとつながる自然の営みを、肌で感じることでできた貴重な体験のようでした。

大きな舞台で輝いた！

野田中テニス・吹奏楽、直心館



東北大会に出場した野田中ソフトテニス部

秋田県雄和町で九日（土）から十日（月）まで開かれた、第三十二回東北中学校ソフトテニス大会に野田中学校の男子ソフトテニス部が、県の代表として団体とダブルスに出場しました。

ダブルスに出場したのは、同校の北田晋平くん（二年B組）と野崎諒くん（二年A組）の二人。

第一選目に宮城県代表の渡邊・菅野組（志波姫中）と対戦し、2-10のストレートで勝ち、第二回戦目にこまを進めましたが、山形県の遠藤・荒木組（米沢四中）に惜しくも敗れてしました。

三校の総当たり戦となった団体予選では、2敗し予選を通過する

ことはできませんでしたが、部員らは自分たちの力を存分に試し、強くなるための課題を見つけ出したようでした。

七月三十一日（土）と八月一日（日）に北上市で開かれた、全日本吹奏楽コンクール第四十二回岩手県大会で、野田中学校の吹奏楽部が金賞を受賞し、東北大会への出場権を獲得しました。

自由曲「セドナ」を選曲して挑み、中学校Bクラス四十二校の頂点に立ち、この大会で最優秀賞を三年連続で受賞しました。

同大会には、野田小学校の合奏団も出場し、最高賞となる金賞を受賞しましたが、惜しくも代表には選出されませんでした。

このほど県営武道館で行われた第一回岩手県小学生学年別柔道大会に、直心館の佐々木孝啓くん（五年一組）と森貝妃呂未さん（六年二組）が出場し、県で第三位に輝きました。同大会に出場した二人は、それぞれのトーナメントを順調に勝ち続けましたが、残念ながら準決勝で涙をのみました。日ごろの厳しい練習に取り組み、素晴らしい足跡を残した村のアスリート、アーティストたちはこれからも大きな夢を追い続けることでしょう。これまで以上に応援にも力が入ることは必至ですね。

こかせ
アポイの樹風呼ぶまち



友好町村だより

北海道様似町⁶³

楽しいキャラクターの 仮装パレード

町内で唯一の様似高等学校（高橋文明校長の第四十一回様高祭が七月十六日（金）十七日（土）の二日間「今年は、ぶっこんでいくんで夜露死苦」をテーマに開催されました。

初日は、好天に恵まれ、一年生から三年生までの七クラスで、クラス対抗連風揚げと仮装パレードが行われ、連風揚げはクラス全員で風づくりに挑戦しましたが、微風で一クラスしか揚りませんでした。仮装パレードは沿道に父兄や町民のかたがたが多数集まり大きな声援を贈っていました。



仮装パフォーマンスがスポーツセンター前で繰り広げられ、ディズニーキャラクターやシンデレラ姫、セーラームーン、水泳パンツ一枚でウオーターボーイズのまねなど、生徒や観客に大爆笑、集まった人たちを楽しませてくれました。

様似高等学校は生徒の減少で、来年三月で普通科がなくなり、商業科だけとなりますが、先生も生徒と一緒に仮装をしてパフォーマンスをする姿は、とても感動的で好感がもてました。

二日目は、一般公開され、合唱コンクールやバンド演奏、カラオケ、ダンスなどが行われ、生徒の模擬店も行われ、また、父兄で構成する親父の会による「ツブ焼き」と「生タコ焼き」が出店され、大変にぎわいました。

むらうの文芸

（八月投稿作品）

「テーマ「葉月」」

カタカナ語はらん時代宅配の

「転地無用」に心なぐさむ

夕涼むこまでとどく直心館

土用稽古の暈うつ音

大輪の白百合咲きぬ夏の陽に

いとも涼しげ浜風うけて

大根草されど群れ咲き美しく

見ゆる炎暑の夕暮れの中

砂まつり合併問題合意乗せ

普代久慈行き十府ヶ浦線

ねじ花も意地があるらし川縁の

憂きことも癒されしかなそぞろ立つ

川土手一面十葉の花

みどり濃き木陰に身を休めて

見上ぐる大樹陽に構えおり

白菜も育ち休止す水不足

梅の実のすずなり熟るる炎暑かな

潮風に炎暑すくわる砂まつり

盆踊り今は昔を偲ぶれば

栗の花瞬き初むる山家の灯

夏瘦せて尺取虫に測らるる

水面をきらりと光り鮎跳る

商いも出来る程のかき氷り

扇風機寄せ引き合いて定まらず

背に腹は熊も美食の里が好き

災害は予測予見を裏切りて

砂まつり祈りとどいて大漁旗

漁村でも都心の暑さ体感す

岩岡 野雲

〃

藤村 夢路

〃

大崎 宏月

福盛田 浄心

〃

古山 静香

小野 満

〃

岩山 高陽

佐藤 勲

〃

〃

岩山 高陽

小林セツ子

〃

73歳以上が対象です 平成16年度村敬老会

今年も敬老会を開催しますので、皆様お誘い合わせのうえご来場ください。

対象年齢は73歳以上となります。来年度以降は1歳ずつ繰り上げて平成18年度からは75歳以上の人が対象となる予定です。

- 1 日 時 平成16年9月11日（土）
- 2 開 会 午前10時
- 3 場 所 野田村体育館
- 4 対象者 昭和7年4月1日以前に生まれた人
（平成17年4月1日現在、満73歳到達者）



家庭用の生ごみ処理機 先着5人に購入費補助

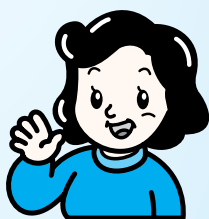
乾燥型、または微生物分解型の処理機を指定店から購入する場合に補助金の交付を受けることができます。

購入費の補助を希望する人は下記担当課へお申し出ください。

【補 助 額】購入経費の1/2以内の額で2万円を限度とします。（1,000円未満は切捨て）

【対 象 者】村内に住所を有し、居住している人

【購入指定店】(株)北末、中野電気店、トダテ電化、いわてくじ農業協同組合野田支店



上記について、詳しくは役場保健福祉課へお問い合わせください。

【問い合わせ先】 役場保健福祉課 ☎78-2927

駐在所 だより

人身事故が多発！去年の4倍

村内での人身事故が昨年に比べ約4倍、負傷者の数も3倍と多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけ交通ルールを守り、事故を起こさないよう会わないようにしましょう。

【問い合わせ先】

久慈警察署野田駐在所 ☎78-2161

三鉄のお得なきっぷ

シルバー & 通院回数券

65歳以上、または通院している人に。10回分の運賃で12回乗車できます。

セット回数券2000円

金額式の回数券。100円券2,200円分のセット。

フリー乗車券

南リアス線用 1,100円 北リアス線用 2,000円
日曜・祝日にご利用できます。

団体利用に助成

3人以上の団体が利用する場合、運賃や借り上げ料の半額を助成。団体利用は3日前、借り上げは2週間前までに申し込んでください。

【お問い合わせ先】三鉄久慈駅☎52-0177、陸中野田駅☎78-2106、役場総務課☎78-2111



おすすめします！お得な 保険料の「前納制度」

「前納制度」とは、国民年金保険料を期日前にまとめて納めると割引になる制度です。毎月納めるよりも保険料がお得で、納め忘れを防ぐことができます。4月に1年分を前納できるほかに次のような場合も割引の対象となります。（月額13,300円で計算した場合）

①6ヶ月分を納める場合

例：10月から翌年3月分まで 月ごとの納付 79,800円
半年分の前納 79,150円⇒650円お得！

②前納を希望する月から翌年3月分まで

例：8月分から翌年3月分まで 月ごとの納付 106,400円
8月分からの前納 105,190円⇒1,210円お得！

今年60歳になる人は誕生月までの保険料を前納することもできます。前納を希望する場合は新たに納付書の発行が必要となりますのでお申し出ください。

《問い合わせ先》

☆岩手社会保険事務局二戸事務所 ☎0195-23-4111

☆役場住民生活課国保年金係 ☎78-2928

国民年金保険料は便利な口座振替で！



手をくっつけなくてね(物づくり体験)

参加者募集「純情産地ツアー」

村内の安全で安心な食の生産現場を体験するツアーを開催します。

【日時】9月22日(水) 9:20～15:00

【内容】リンゴ収穫、塩作り体験
※定員45人になり次第締め切り

【申し込み・問い合わせ先】久慈農業改良センター ☎53-4989

再就職に備えるセミナー

育児や介護のために退職した人の再就職のためのセミナーです。

【日時】9月7日(火) 13:00～15:30、8日(水) 9:30～12:00

【場所】久慈市勤労者家庭支援施設サンエール久慈

【申し込み・問い合わせ先】

(財) 21世紀職業財団岩手事務所 ☎019-653-8681

いわて就職面接会

県では有能な人材を確保し、県内への定住と定着を図るため次のとおり面接会を開催し、個別面談や会社説明などを行います。

対象は平成17年3月卒業予定の学生、U・Iターン者などです。

日 時	会 場
10月17日 13:00～16:00	東京交通会館 (東京都千代田区)
11月5日 13:00～17:00	岩手手産業文化センターアピオ(滝沢村)

【問い合わせ先】(財) ふるさと定住財団 ☎019-653-8976
URL <http://www.isop.ne.jp/f->



夏といえばスイカ割り

社会参加と自立・就業推進の集い

障害のある子どもたちの就学や社会参加について、一緒に考えてみませんか。参加は無料です。

【日時】9月4日(土) 10:00～14:45

【場所】久慈市アンバーホール

【内容】体験発表、講演「地域生活を豊かにするために」、特別支援教育の概要の解説、アトラクションなど

【問い合わせ先】県立久慈養護学校 ☎58-3004

創業経費の1/3を支援

独立企業や新事業を行う子会社の設立を支援するため、奨励金を支給します。地域に貢献する事業に関する事業計画を作成し、新規に法人を設立した後、1年以内に常用労働者または短時間労働者として3人以上(うち1人以上は常用労働者)雇用した事業主に以下の金額を支給します。

◆新規創業に係る経費の1/3(上限500万円。ただし、3人または4人の雇入れ時は上限300万円)

◆30歳以上の常用労働者1人当たり30万円、短時間労働者1人当たり15万円(上限100人分)

【問い合わせ先】岩手労働局職業安定部職業対策課 ☎019-604-3005

キャラのキーホルダーで村をPR

(株)コダマ(小玉靖夫代表取締役)が、のんちゃん和撫でベコをモデルにしたオリジナルキーホルダーを作成しました。価格は1個680円(税込み)、観光物産館ぱあぶるで購入できます。

村の新しいお土産として人気を集めそうですね。

今月号ではこれらを広報クイズの当選者に、どーんとプレゼントします。



(株)コダマさんからの提供です

キーホルダーが当たる! かんたん3択 広報クイズ

次の問題の正しい答えをはがきに書いてお送りください。

第20回砂まつりのカウントダウンイベントにかけつけた、岩手発のアイドルグループは次のうちどれ?

1. ラブユアーズ
2. ドリフターズ
3. モーニング息子。

【応募方法】

はがきにクイズの答えと住所・地区名、氏名、年齢を明記してお送りください。正解者の中から抽選で6名に「キーホルダー」をプレゼントします。応募は一人1通。当選者発表とイラスト、声の欄の氏名掲載はなるべく本名とします。

【締め切り】

平成16年8月30日(月)(当日消印有効)
広報や村に対する質問、身近な話題などお寄せください。いろんな情報、ちょっと一言、情報交換も大歓迎!

〔家族入浴券当選者〕

答えは、1「キャッツ」でした。当選した皆さんおめでとうございます! これからもどしどし応募してね。

- ・芦 渡 愛 美さん (下 泉 沢)
- ・打 座 美 優さん (北 区)
- ・大 沢 加 純さん (南 浜)

みんなの声イラストコーナー



大沢加純さん (南浜・9歳)

①かわいいディズニーのキャラ



芦渡愛美さん (下泉沢・9歳)

②ステキな三つ編みですね



打座和音さん (北区・7歳)

③ウインクでイチコロよ♡



佐藤由香子さん (旭町・11歳)

④キャット先生に感謝!!



打座美優さん (北区・11歳)

⑤かなり芸術点が高いです



今回は米田の障子上文義さん (22歳)を紹介します。

歌が大好き!メンバー募集中

—お仕事は

野田中学校の地域教育推進員を勤めています。地域と学校の橋渡し役になれるように、がんばっています。

—趣味は

音楽活動や物づくりが大好きです。楽器を使わないボーカルグループ「サウンドオブズ・ユ・ズ」のメンバーを募集中です。

—好きなものは

レストランはあぶるの塩ラーメン、安来直売所の豆腐が大好きです。

—自分の性格は

落ち着きがない、だらしないなど、あまり良く言われたことはありません。寂しいなあ。

—困っていることは

村内に残っている同級生が少ないことです。ちょっと寂しいなあ。

—目標は

友だちがいつでも集まれるような場所作りがしたいですね。

—理想の女性のタイプは

いつも自然体でいられる人がいいですね。私が不自然な分。

—村について

若い人が勤めることができる職場が増えるとうれしいです。

—次の方を紹介してください

玉川の南川奈穂さんを紹介します。